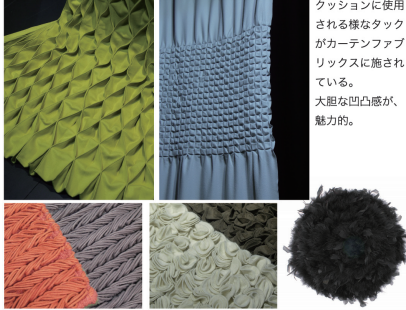



■2008Maison&Objet・傾向その3 (クオリティー)

2008.02.21・Report- 大場 7/8

\*ナチュラルな素材が、年々多くなって来ている。特に注目のブランドはオーガニック素材を使用しているケースが見受けられる。表面感の有るものは、より大胆になって来ている。

<p><b>&lt;表面感&gt;</b> タック・プリーツ・羽根など色々な手法の表面感が、登場している。前年よりも凹凸感が大きくなって来ている様に感じる。</p>  <p>クッションに使用される様なタックがカーテンファブリックスに施されている。大胆な凹凸感が、魅力的。</p>	<p><b>&lt;ウール素材&gt;</b> 粗ゲージニット・フェルト・雑絨毛織物など、ウール素材が多くなって来ている。織物もザックリ感のあるものが注目されている様である。</p>  <p>手触り感と、見た目に優しさが感じられるウール素材。</p>	<p><b>&lt;ウォッシュアウト感&gt;</b> 麻・コットン・ウール・キルトなど多くの素材に、ウォッシュアウトな使い込んだイメージのあるクオリティーが、登場している。</p>  <p>力の抜けた感じに見えるクオリティーが新鮮に感じられる。</p>
<p><b>&lt;穴あき加工&gt;</b> 刺繍・ヒートカット・ロック加工など大胆に穴を開けているクオリティーが目立っていた。生地以外のアイテムでも多く見られたのも、今回の特徴と言える様だ。</p> 	<p><b>&lt;粗ゲージニット&gt;</b> 粗ゲージニットにも、クオリティーバリエーションが広がっている。光沢・リネン・また黒など強いカラーリングも新しい動き。</p> 	<p><b>&lt;ブライト感&gt;</b> 金属糸や箔プリントもまだまだ多く出展されている。特に金属糸は自然素材として挿えられている様である。</p> 

■2008Maison&Objet・傾向その4 (スタイル)

2008.02.21・Report- 大場 8/8

\*テキスタイル&プロダクトとそれぞれに感じた、新しいスタイルの傾向を紹介させて頂きます。共通点としては、斬新な見かけや2WAYS用途などが上げられると思います。

<p><b>&lt;ナチュラル・オーガニック素材 on 刺繍&gt;</b> オーガニックもしくはナチュラルな素材に刺繍を施しているクオリティーが、新しく増えている様である。何気なく凝った加工をされている物に、人が集まっているようだ。見た目にも優しい感じが伝わって来る。また、フリンジ加工も注目。</p> 	<p><b>&lt;ウィット感のあるアイテム&gt;</b> 主にプロダクトアイテムでは、ウィット感のあるアイテムが年々多くなって来ている様に思う。さまざまな切り口が見えて楽しい。</p>  <p>色々な所から開けられる引き出し</p> <p>古新聞・雑誌のツール</p> <p>逆さまにすると一輪挿しになる花瓶</p>
<p><b>&lt;構造体イメージのアイテム&gt;</b> 多くのアイテムに構造体や骨組みを思わせる様な、物が多く見受けられた。織物に見えながら、複雑なラインの交差が空間に心地良いアクセントを演出しそうで。ファブリックスでは、人工的な素材で動きのあるものが、テーブルウェアを始めクッション等に見られた。</p> 	<p>一杯になるとセッティング完了になるティーカップ</p> <p>一輪でも楽しめる火器</p> <p>スタンドの周囲の空間をデザインに取り入れた照明器具</p> 